



葉山で創る 齋藤カオル銅版画展



黄色いヨットと夏ミカン (2002年)

銅版画家齋藤カオル氏は、昭和6年葉山に生まれ、葉山で画家を志し、今なお葉山のアトリエで制作三昧の生活を続けられていらっしゃいます。今回は、葉山における18年ぶりの個展になります。齋藤氏は、メゾティントというヨーロッパ古来の技法による銅版画の制作を昭和43年より始められ、これまで国内各地はもとより、海外でもニューヨークを中心に各地で発表、更に多くの国際展からも招待を受けております。

秋の訪れを感じる一日、良き時代の葉山の面影を宿す別荘空間の中での展示を、どうぞごゆるりとお楽しみ下さい。

邸園文化圏再生構想とは

神奈川県は、相模湾沿岸地域一帯の地域資源である歴史的な別荘、邸宅+庭園(以下「邸園」という)等を地域住民と来訪者が多彩に交流し、新しい湘南文化を創造し発信する場として保全活用する「邸園文化圏再生構想」を進めています。

邸園文化交流館とは

邸園の価値の普及と啓発、邸園文化を創造・発信するために、NPO等と邸園所有者と神奈川県が協働して、邸園の公開と運営を行い、邸園の新しい保全活用方策を検証する実験事業です。



2007年9月30日(日) - 10月14日(日)

<但し、10月3日(水)・10日(水)は休館日となります。>

開館時間: 午前10時～午後4時

**会場: 邸園文化交流館はやま
旧中西進別荘(現ブルーミング中西葉山寮)**

**ギャラリートーク: 10月6日(土) 午後5時～6時30分
事前予約20名**

邸園文化交流館はやま 旧中西進別荘 (現ブルーミング中西葉山寮)

240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 1683

tel. 046-875-9759 e-mail.hayamakbd@abelia.ocn.ne.jp

主催: NPO 法人葉山環境文化デザイン集団

<http://www.kanshin.jp/hayamakbd/>

共催: 神奈川県 (都市整備公園課都市公園計画班 / tel.045-210-1111 内線 6218-6220)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/tosiseibi/teien/teien.html>

協力: ブルーミング中西株式会社

後援: 葉山町

予約・問い合わせ先: 葉山環境文化デザイン集団 / tel.046-875-9759 fax.046-875-2818

※ 当館は閑静な住宅地の中にあり、駐車場もございません。公共交通機関を利用し周囲に迷惑とならないようお願い致します。



●アクセス

JR逗子駅より2番乗り場のバス
(系統/2.4.5.6.7)

京急バス「旧役場前」下車、徒歩5分

齋藤カオル略画歴

1931年、葉山町堀内に生まれる。

1948年、アカデミー46美術研究所で鶴田吾郎の指導を受ける。後に、モダンアート協会創立委員荒井龍男に師事。自由美術家協会展、モダンアート協会展を経て、春陽会に所属('95.'96 理事長)2005年退会。1968年頃より、銅版画家長谷川潔に私淑、メゾティント銅版画の制作をはじめ。第8回毎日新聞社主催「現代日本美術展」に銅版画「羊のいる海」が入選。現在、社団法人日本美術家連盟会員。

個展

1962年銀座村松画廊で初個展開催（平面オブジェ及び油彩画）。以後、日本橋高島屋、西武百貨店、兜屋画廊、大阪フォルム画廊、その他、全国各地で110余回開催。1984年、ニューヨーク、トロント、ワシントンなど7都市で個展。1987年、ニューヨーク、ピッツバーグ、ビバリーヒルズで個展。1990年、バンクーバー、シアトル、サンフランシスコ、1999年、ニューヨークで個展。渡加米5回、渡欧2回。国内、国際展に招待出品多数。

2007年4月24日～29日、銀座8丁目兜屋画廊で「齋藤カオル・メゾティント銅版画展」を開催。9月30日～10月14日、葉山町一色邸園文化交流館はやまで「齋藤カオル銅版画個展」を開催。

主な出版物

版画集「古きフィレンツェの女たち—そして四季」（ギャラリー・デコール、ギャラリー77刊1979）、版画集「ひとつのオクタヴ」（西武百貨店刊1980）、「齋藤カオル銅版画作品集」（求龍堂刊1968-1981.1981）、大英博物館「現代日本版画展」の公式ポスターに「揚羽蝶」が採用（1986）。1982年～1991年西武百貨店美術部刊行のオリジナル銅版画集「源氏物語全10巻」を10年間に互って制作、発表。

作品の主な収蔵先

大英博物館、シカゴ・アート・インスティテュート、ホノルル美術館、カーネギーメロン大学、ポートランド美術館、ニューサウスウェールズ州立美術館、ソウル市立美術館、愛知県美術館、大分県立芸術会館、徳島県立近代美術館、横浜市民ギャラリー、常陽銀行、今治市多摩川美術館、葉山しおさい博物館。

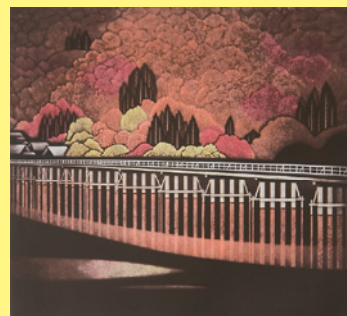
出品作品目録

No.	題名	版種	制作年
1.	夕陽に赤い帆	カラーメゾティント	1991
2.	錦繡渡月橋	カラーメゾティント	1998
3.	天平の薨	モノクロメゾティント	1998
4.	月輝いてF聖堂	モノクロメゾティント	2002
5.	黄色いヨットと夏ミカン	手彩色メゾティント	2002
6.	紅幻想（揚羽蝶）	カラーメゾティント	1983
7.	ルソーの森のマルガリータ	モノクロメゾティント	2007
8.	ティツィアーノの仔犬	モノクロメゾティント	2007
9.	海辺のレストラン	ドライポイント	1997
10.	波濤を越えて	カラーメゾティント	1991
11.	裳礁の海	モノクロメゾティント	1981
12.	猫の好日	手彩色メゾティント	1998
13.	仔雀とビスケット	モノクロメゾティント	1991
14.	仔雀と白い花	モノクロメゾティント	1997
15.	六月	モノクロメゾティント	2006
16.	ヴェネチアの鷗	カラーメゾティント	1992
17.	海光る	モノクロメゾティント	1999
18.	羽黒山五重の塔	ドライポイント	1999
19.	金閣寺	ドライポイント	1999
20.	帆走	モノクロメゾティント	2001

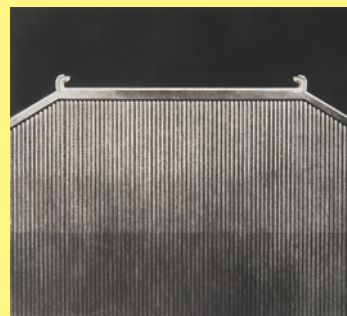
メゾティントとは…？

17世紀半ば頃オランダで発明された技法。専用のベルソーという鋸歯状の鋭い先端の並んだ弧状の歯を持つ道具で、版全体に隙間なく細かな傷、ささくれを無数につけ素地とする。そのまま印刷するとピロードのような感触の深い黒色になる。その版面をイメージに従ってスクレイパーとパニッシャーを使い、ささくれを擦ってつぶしたり、削ったりして灰色から白色まで印刷できるように階調をつけ作品に仕上げる。

葉山で創る 齋藤カオル銅版画展



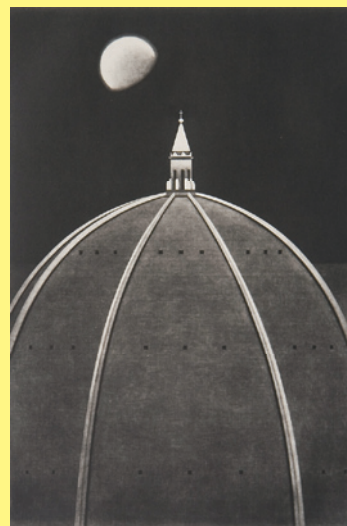
錦繡渡月橋 (1998年)



天平の薨 (1998年)



夕陽に赤い帆 (1991年)



月輝いてF聖堂 (2002年)



紅幻想 (揚羽蝶) (1983年)